快足テーラー

(Z)TD402

J-1353

取扱説明書

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

耕うん機・テーラー✚安全五憲章

1．道路走行・ほ場の出入り・車への積降しのときは，必ずロータリの回転を止めます。

2．農道を走行するときは，スピードを落とし路肩に注意します。

3．ほ場の出入り・車への積降しは上りは前進，下りは後進で行ないます。

4．バックをするときは，スピードを緩め背後の障害物に注意します。

5．機体の点検・調整・整備は必ず，エンジンを止めてから行ないます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

1．はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。
そして機械を点検し，異常箇所がないか確かめてから使用してください。

2．燃料の給油とエンジンの始動

(1)燃料補給をするときは，
- ●必ずエンジンを停止して行ないます。
- ●燃料をこぼさない。
- ●こぼしたときは，きれいにふきとります。
- ●火気厳禁。特に夜間は裸火の下で給油しない。

(2)密閉した車庫内で，長時間エンジンをかけたままにしておくと，空気を汚しガス中毒を起す危険があります。

(3)エンジンを始動するときは，主クラッチを切り，主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

3．始　　動

発進するときは，周囲の安全を確かめ，機械の付近に人が近づかないようにしてください。
又，バックするときには，足元・後方をよく確かめてから，エンジンを低速にしてバックしてください。

4．作業中

(1)傾斜地で作業したり，重い荷物をけん引するなど，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。

(2)ベルトカバーなどを取外した状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。

(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。

(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5．積込み・積降ろし

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。

(2)積込み・積降ろし中に，トラックが動かないように，必ずトラックのサイドブレーキを確実にかけてください。

安全に作業するために

6．走　　行

(1)6速で道路走行中，操向クラッチは切らないでください。急旋回して危険です。

(2)下り坂では，主クラッチを切ったり，変速を中立にすると，スピードが出すぎて危険ですので，行なわないでください。

(3)坂道での変速操作は危険です。平たんな所であらかじめ遅い速度に変速し，安全な速度で走行してください。

(4)坂道で操向クラッチを操作すると，思わぬ方向に機体が曲ることがあります。坂道では速度を遅くし，ハンドル操作でカーブを曲るようにしてください。

(5)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。

(6)一般道路上では，自動車に道を譲るなど，交通法規・交通道徳を守ってください。

(7)カーブでは，速度を落としてハンドルを操作してください。

7．ロータリ作業

(1)耕うん爪の点検及び交換するときは，次のことを守ってください。

- ●平たんな場所で。
- ●エンジンを止める。

(2)ロータリ作業時は，次のことを守ってください。

- ●爪軸など，回転部分には手を近づけないでください。
- ●ロータリの上に乗らないでください。
- ●バックのときは，必ず後方を確認してください。

8．その他

(1)次のような状態では運転しないでください。

- ●飲酒運転。●いねむり運転。
- ●病気や薬物の作用で，正常な運転ができないとき。●妊娠中の方。

(2)だぶついたズボンや上着など，回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。

(3)点検・整備・清掃などは，必ずエンジンを止めてから，取扱説明書に従い行なってください。

(4)作業中又は作業後に，高温部分（マフラ・ラジエータなど）に触れるとヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。

(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，「取扱説明書」「安全注意ポスタ」「納入品安全説明書」をよく読むように指導してください。

★以上，機械の取扱いで起りがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で 安全ポイント として，その都度とり上げております。更に，安全のポイントを抜粋した「安全注意ポスタ」・「納入品安全説明書」を別冊にして添付しておりますので，よくお読みいただいて必ず守ってください。

はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきまして，ありがとうございました。

この取扱説明書は，テーラーの正しい取扱い方法・定期的な点検及び整備について説明してあります。

本機のすぐれた性能を充分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただき，充分理解してから御使用くださるとともに，日常の保守点検・整備・給油などを充分に行なって末長く御活用ください。又，お読みになった後必ず大切に保存し，わからないことがあったとき取出してお読みください。

なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取入れておりますので，お手元のテーラーと，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめ御了承くださいますようお願いいたします。

目次

サービスと保証…… 1

小型特殊自動車としての取扱い…… 2

運転装置の説明…… 3

運転のしかた…… 6

始動前の点検…… 6
エンジンの始動…… 6
ジェットスタートの使い方…… 7
テーラーの運転…… 7
エンジンの停止…… 7

テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには…… 8

仕業点検(毎日始動前の点検)…… 8
ならし運転(最初の10アール使用まで)…… 8
定期点検…… 8
燃料について…… 9
ラジエータについて……10
各部の給油・点検とオイル交換……11
エアークリーナの清掃……13
使用後の清掃……13
長期格納時の手入れ……13

保守と調節……14

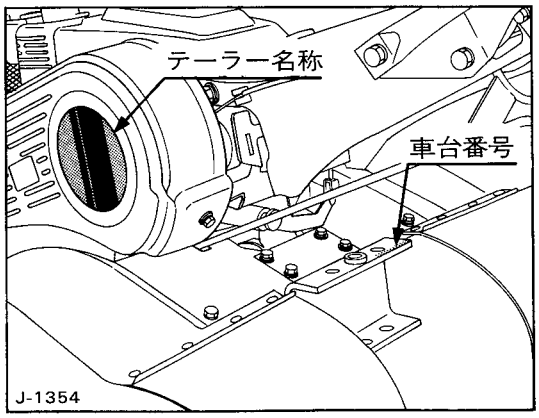
主クラッチの調節……14
駐車ブレーキの調節……15
操向クラッチの調節……15
ファンベルトの張り調節……15
タイヤの空気圧……15
手元ハンドルの上下調節……16
車輪間隔調節と車輪交換……16

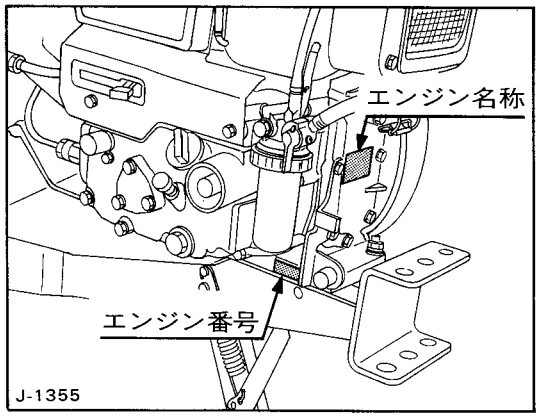
付表……17

アタッチメント一覧表……17
オプション部品……20
仕様……21

サービスと保証

このテーラーには，保証書が添付してあります。詳しくは保証書を御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただきました購入店・農協又は当社サービスステーションに，それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
その際 (1)テーラー名称と車台番号
(2)エンジン名称とエンジン番号
(3)部品御注文の際は，
タイトル名称・図番及びコードNo.
（純正部品表参照）
を合せて御連絡ください。





◆安全鑑定合格番号

◆型式認定番号

■小型特殊自動車とは，

カタピラを有する自動車，農耕作業用自動車及び運輸大臣の指定する特殊な構造を有する自動車で，下欄に該当する自動車。

車体の大きさ	全　長	4.70m以下
	全　幅	1.70m以下
	全　高	2.00m以下
最高速度		15km／時以下
原動機の総排気量		1500 cc 以下

■小型特殊自動車に必要な保安装置

(1)最小回転半径
トレーラを取付けた状態で，最外側のわだちについて12m以下。
(2)ブレーキ
一系統以上の制動装置が必要です。その制動距離は，制動初速度15km毎時未満の最高速度の状態で，５m以内で停止すること。

小型特殊自動車としての取扱い

このテーラーにトレーラを取付けて道路を走行すると，道路運送車両法により小型特殊自動車になるので，運輸大臣の型式認定を受けています。

■小型特殊自動車取得の届出とナンバプレートの取付け

トレーラを取付けて道路を走行する場合は，市町村条令により，その取得を市町村役所に届出，ナンバプレートを取付けなければなりません。

（詳細な手続きは市町村により相違がありますが，役所窓口での簡単な手続きでできます。）

❶小型特殊自動車取得の証明書など（購入店・農協で発行）に，軽自動車税（年間標準税額1000円）を添えて，市町村役所に届出る。

❷届出が済むと，ナンバプレートが交付される。

❸ナンバプレートを車体の取付け位置に取付ける。

■運転免許

トレーラを取付けて公道を走行する場合は，小型特殊自動車の運転可能な免許が必要です。必ず所持してください。

■自動車損害賠償責任保険のお勧め

万一の交通事故補償に備えて，任意保険に加入されることをお勧めします。

■道路走行時の注意

(1)型式認定時の寸法を越えるトレーラを取付けないでください。

(2)ブレーキのきかないトレーラは使用しないでください。

(3)バックミラー・ホーン・ヘッドランプ・後部反射器が，確実に作用するか点検し，整備してください。

(4)最高速度は15km／時以下です。車輪やプーリを交換して，これ以上の速度が出るようにしないでください。

(5)運転者のほかは乗車させないでください。

(6)トレーラの積載重量と寸法を守りましょう。

(7)動力取出し軸にカバーをしてください。

(8)エンジン排気口の向きを前に向けてください。

---

(3)ヘッドランプ

前方に１個のヘッドランプが必要です。

(4)後部反射器

トレーラの後面には，後部反射器を備えなければなりません。

トレーラを使用される場合は，確認の上，装備されていない場合は，購入店・農協で御購入の上，必ず取付けてください。

（クボタ純正トレーラには，後部反射器が装備されています。）

(5)ホーン

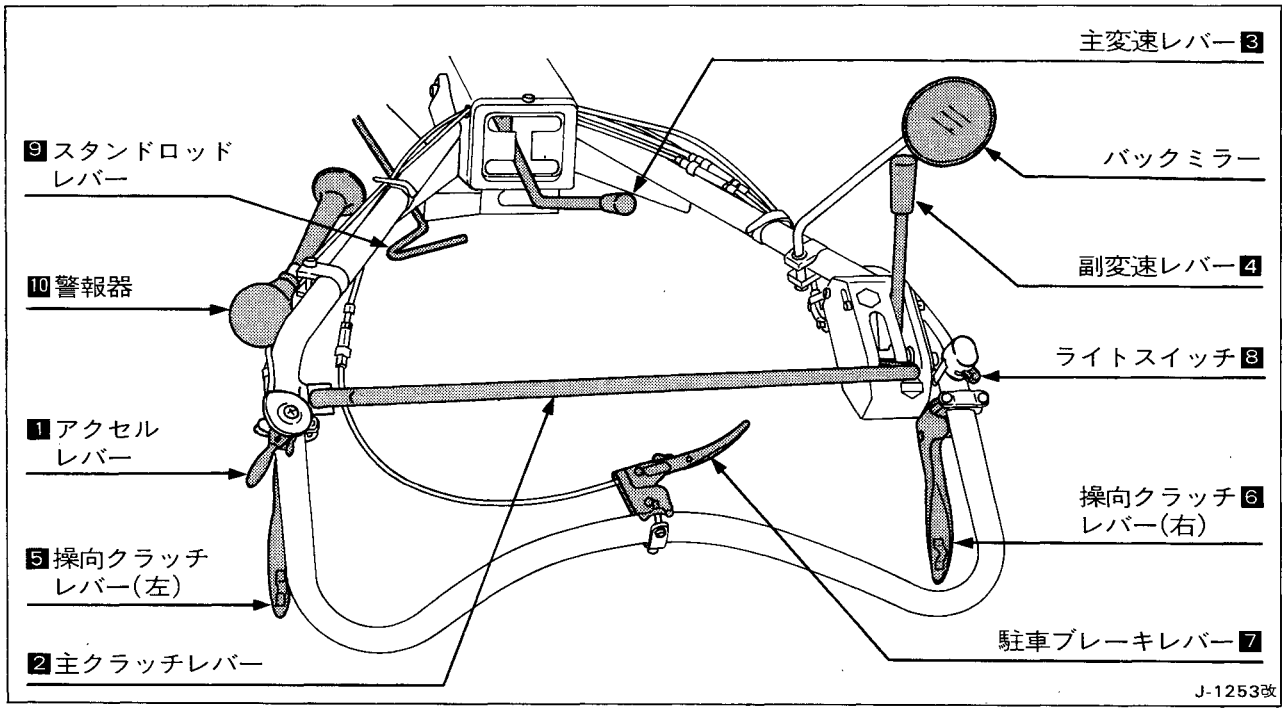
ホーンは必ず備え付けなければなりません。

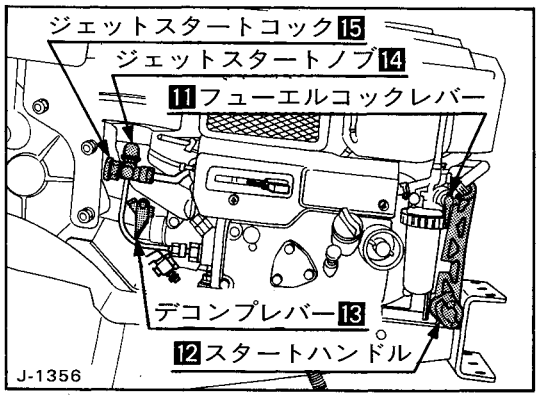
(6)バックミラー

バックミラーは必ず備え付けなければなりません。

※このテーラーには，ヘッドランプ・ホーン・バックミラーは装備されていますので，更に装備する必要はありません。

運転装置の説明

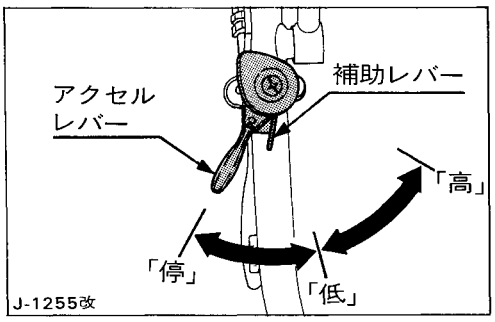




1 アクセルレバー

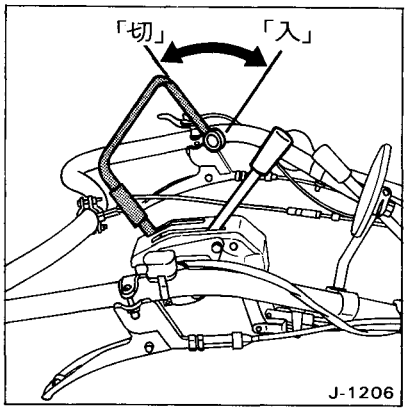
エンジンの回転速度を調節するレバーです。

「高」	エンジンの回転が高速になる。
「低」	エンジン回転が低速になる。
「停」	エンジンは停止する。 (補助レバーを押えて作動させる。)



2 主クラッチレバー

エンジンから車軸への動力を断続します。



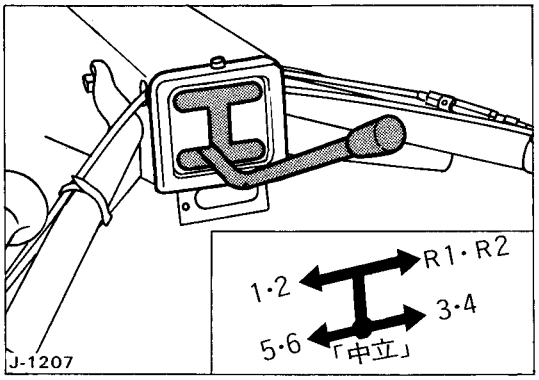
安全ポイント

(1)トレーラ運搬作業や路上走行時，主クラッチレバーを急激に入れますと，エンストをしたり，急に走り出したりして危険です。

(2)後進のときは，ハンドルが持上がり危険ですので，ゆっくり主クラッチを入れてください。

3 主変速レバー

副変速レバーとの組合せにより，前進６段・後進２段の変速ができます。作業に適した速度をお選びください。



注意

- 前進後進に関係なく変速が入りにくい場合は無理をせず，いちど半クラッチにして再度変速操作をしてください。

安全ポイント

(1)誤操作による危険防止のため，変速操作はなるべく主クラッチを確実に切ってから行なってください。

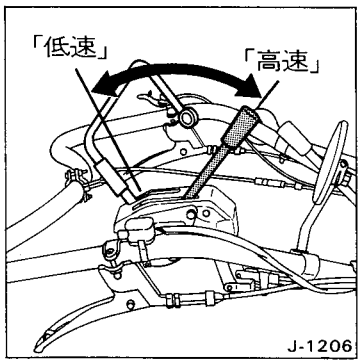
(2)湿田車輪など大径車輪を使用しての「後進」は危険ですからさけてください。やむをえず「後進」するときは，後方の安全を確め，耕うん部が持上がらないよう，ハンドルを押えながら行なってください。

(3)「前進６速」「後進２速」は高速で危険です。トレーラ作業のほかは使用しないでください。

副変速レバー	主変速レバー
「低速」	「1速」「R1」 「5速」「3速」 「中立」
「高速」	「2速」「R2」 「6速」「4速」 「中立」

4 副変速レバー

「高速」「低速」の切換えができます。



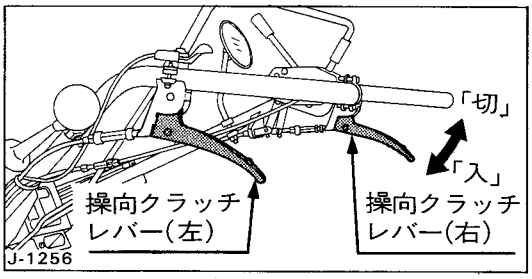
安全ポイント

- ロータリ作業は副変速「低」(前進１速)で使用してください。２・４・６速はロータリが高速回転して危険です。

5 6 操向クラッチレバー(左)(右)

左右それぞれの車軸への動力を断続するレバーです。旋回するときに使用します。

左側のレバーを握る。	左に旋回する。
右側のレバーを握る。	右に旋回する。
両方のレバーを握る。	両車輪の回転が止まる。

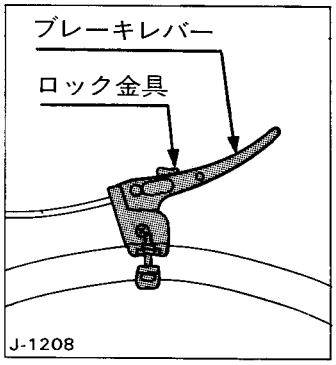


安全ポイント

- 坂道を運行している場合，又はトレーラ運搬の場合は，操向クラッチを切ると，急激に機体の方向が変って危険ですから，操向クラッチは切らず，ハンドルのみで操作してください。

7 駐車ブレーキ

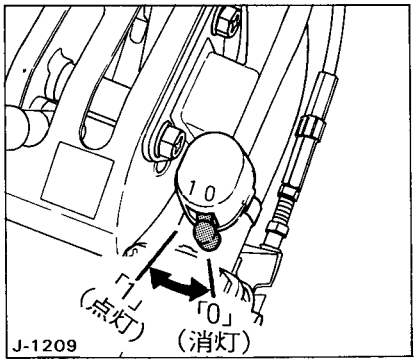
レバーを握るとブレーキがききます。更にロック金具を作用させると，レバーがロックされ，駐車ブレーキになります。



安全ポイント

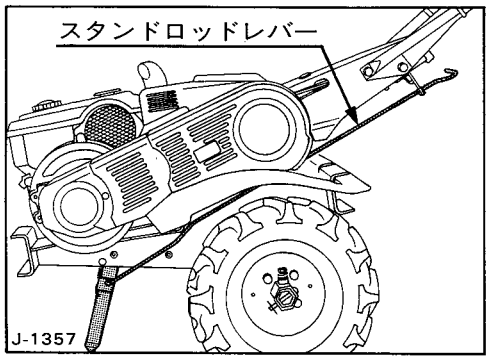
- このブレーキレバーは駐車ブレーキのため，路上走行中は使用しないでください。走行中使用すると，ハンドルが上(前進時)下(バック時)に急激に揺れます。

8 ライトスイッチ



9 スタンドロッドレバー

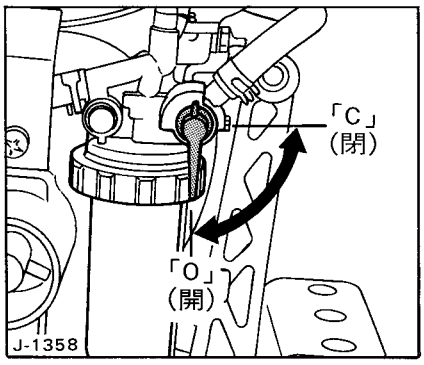
手前に引くとスタンドが引込み，前方に押すとスタンドが立ちます。



10 警報器

ゴム部を握ると音が鳴ります。

11 フューエルコックレバー



12 スタートハンドル

13 デコンプレバー

エンジンを始動するための装置です。

14 ジェットスタートノブ

15 ジェットスタートコック

寒冷時の始動の際に使用します。

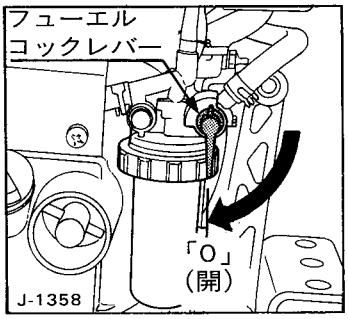
運転のしかた

始動前の点検

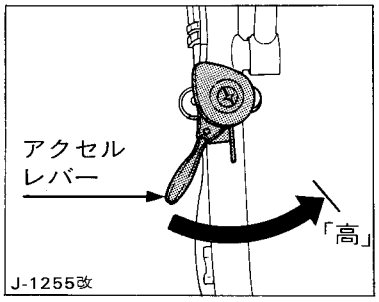
エンジン始動前には，必ず仕業点検（毎日始動前の点検）を行なってください。（８ページ参照）

エンジンの始動

❶フューエルコックレバーを「O」の位置にします。

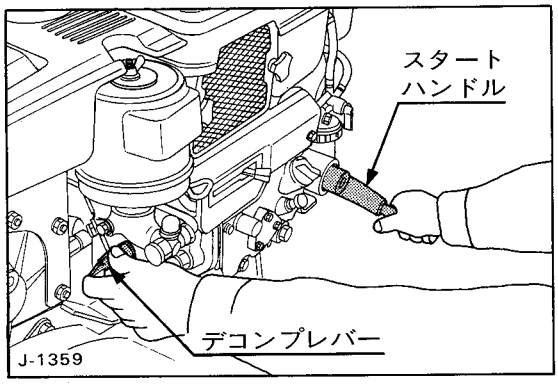


❷アクセルレバーを「高」の位置にします。



❸スタート軸にスタートハンドルを，完全に爪が引掛かるまで奥に差込みます。

❹左手でデコンプレバーを引上げ，右手でスタートハンドルをゆっくり回します。しばらくすると噴射音がし始めます。（音がしない場合は，燃料とフューエルコックレバー位置の確認を行なってください。）（９ページ参照）



❺スタートハンドルを勢いよく回し，勢いのついたころデコンプレバーを放すと同時に，スタートハンドルにいっそう力を入れ，圧縮位置を越せば，エンジンは始動します。

❻エンジン始動後，しばらくは各部にオイルがいきわたるための時間が必要ですので，数分は荷をかけないで，エンジンの調子を見てください。

注意

- エンジンがかかりにくいとき（低温時）は，ジェットスタートを使用すれば容易にかかります。

安全ポイント

⑴エンジン始動の際は，主クラッチレバーは「切」，主変速レバー・ロータリ変速レバー（ロータリ付）は「中立」の位置にしておいてください。

⑵マフラ排気出口に燃えやすいものがないか，確認してください。

⑶エンジン運転中は，マフラに手を触れないでください。

⑷エンジン運転中は，ラジエータキャップを絶対に開けないでください。

⑸通気の悪い室内などでエンジンを運転しないでください。排気ガス中には有毒な成分が含まれていますので，作業中は，使用者はもちろん回りの人や家畜などにも，排気ガスに充分注意してください。

⑹スタートハンドルの増速比は2.9倍のため，圧縮の位置は常に移動します。

⑺圧縮越しのときには，絶対にスタートハンドルに加える力を抜いたり，ハンドルを抜かないでください。圧縮位置を越しても，２～３回はハンドルの力を緩めずに勢いよく回してください。

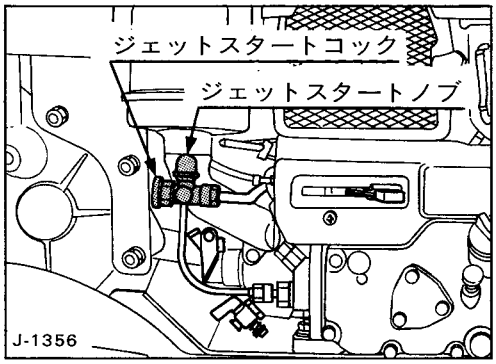
⑻エンジンが始動すると，ハンドルは軸から自然に抜けるので，エンジンが始動しても，絶対にハンドルから手を離さないでください。ハンドルから手を離すと，ハンドルが軸と一緒に回り，たいへん危険です。

ジェットスタートの使い方

低温時は，ジェットスタートを次の順序で使用すると，楽に始動することができます。

❶ジェットスタートコックを左に回して，コックを開けます。

❷ジェットスタートノブを２回押します。(１回につき燃料が約1.5cc注入されます。)



❸コックを元通りに完全に締めます。

❹アクセルレバーを「高」の位置にします。

❺デコンプレバーにさわらず，スタートハンドルをゆっくり回し，圧縮位置を越さずに圧縮反転を約10回繰返します。
(シリンダ内の空気が圧縮熱により上昇し，又，シリンダ内面にも適当な油膜が形成され，始動しやすい状態になります。)

❻デコンプレバーを上げ，スタートハンドルが抜けないように押し気味に持って，勢いよくスタートハンドルを回し，勢いのついたころにデコンプレバーを放すと同時に，スタートハンドルにいっそう力を入れ，圧縮位置を越せば始動します。

注意

(1)燃料は，タンク下部の取出し口からゴムパイプを通り，ジェットスタートへ吸込まれますが，フューエルタンク底にゴミや水がたまりますと，ジェットスタートの吸込みが悪くなりますから御注意ください。

(2)ラジエータに熱湯を入れると，エンジンが暖まり，始動が楽になります。

(3)寒冷時最も大切なことは，クランクケースに，指定のクボタ純オイル（ディーゼルエンジン用）Ｄ10Ｗ30を使うと，始動の際，スタートハンドルをたいへん軽く回すことができます。

安全ポイント

●運転中は，必ずジェットスタートコックを締めておいてください。コックを開けていると，運転中燃料を吸込む恐れがあります。

テーラーの運転

❶主クラッチレバーが「切」の位置にあることを確認の後，主変速レバー・ロータリ変速レバー(ロータリ付)を必要な変速位置に入れます。

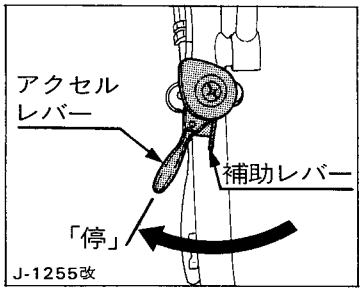
❷主クラッチレバーを「入」にすると発進します。

安全ポイント

●トレーラ作業のほかは，前進６速・Ｒ２速は使用しないでください。

エンジンの停止

アクセルレバーを「停」の位置にします。
この際，デコンプレバーには絶対に触れないでください。バルブ関係が故障します。



安全ポイント

(1)エンジン停止後は，マフラが熱くなっていますので，手を触れないようにしてください。

(2)エンジン停止後しばらくは，ラジエータキャップを開けないでください。熱湯でヤケドをする危険があります。

テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには

仕業点検（毎日始動前の点検）

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1．前日使用の異常箇所。
2．テーラーの回りを歩いて，
(1)燃料は充分か。（9ページ参照）
(2)冷却水の量。（10ページ参照）
(3)エンジンオイルの量，及び汚れ。（11ページ参照）
(4)ミッションオイルの量，及び汚れ。（11ページ参照）
(5)ファンベルトの張り具合，損傷。（15ページ参照）
(6)エアークリーナの汚れ。（13ページ参照）
(7)タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。（15ページ参照）
(8)各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。（12ページ参照）
(9)各部の油もれ。
(10)各部の損傷，及びボルト，ナットの緩み。

ならし運転（最初の10アール使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用は避け，無理をさせないようにしましょう。

定期点検

期　間	項　目	参照ページ
50時間使用ごと	送油管の点検	
	エアークリーナの点検	13ページ
100時間使用ごと（最初50時間使用後）	エンジンクランクケースのオイル交換	11ページ
	オイルフィルタの掃除	
100時間使用ごと	フューエルフィルタの掃除	9ページ
	エアークリーナの掃除	13ページ
	バルブクリアランスの点検	購入店・農協に依頼
	軸受け，ヘッド，ポンプなどの締付け部点検	
300時間使用ごと	フューエルタンクの掃除	
	エキゾーストバルブのすり合せ・掃除	購入店・農協に依頼
春・秋おのおの使用前（最初50時間使用後）	トランスミッションケースオイルの交換	11ページ
1000時間使用後	ノズルの掃除	購入店・農協に依頼
	インレットバルブすり合せ・掃除	
	シリンダの掃除	
	ピストンの掃除	
	インジェクションポンプの点検	

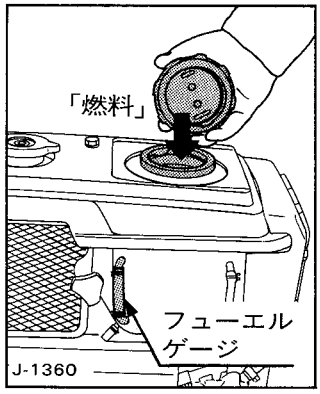
燃料について

安全ポイント

● 給油中エンジン停止・火気厳禁。

■燃料の給油

始動前には，必ず燃料が充分入っているかどうか点検してください。
不足の場合は，フューエルタンクキャップを外して燃料を補給してください。



燃料の種類	満たん容量
クボタディーゼル重油 又はディーゼル軽油	3 ℓ

なお，クボタディーゼル重油は，共同石油・丸善石油・日本石油・大協石油の４社で販売しております。

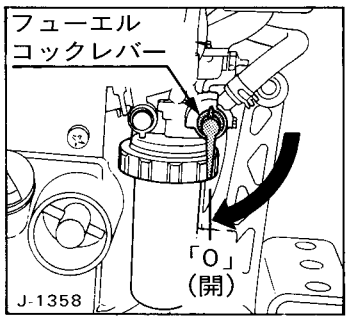
■エアー抜き

次のような場合，エアー抜きを行ないます。
- フューエルフィルタ及び配管を取外したとき。
- 燃料切れが起きたとき。
- テーラーを長期間使用しなかったとき。

◆エアー抜きの方法

❶フューエルコックレバーを「C」(閉)から「O」(開）の位置にして約20秒待ちます。
（このフューエルフィルタは自動エアー抜き装置付きで，コックを開くとパイプ，フィルタ内のエアーが自動的に抜けます。）

❷運転はレバー位置を変えないで「O」(開）位置で行ないます。



■フューエルフィルタの清掃

(1)フューエルフィルタは，燃料のゴミを取除きます。
取除かれたゴミは，カップの底にたまるか，ろ紙の表面に付着します。

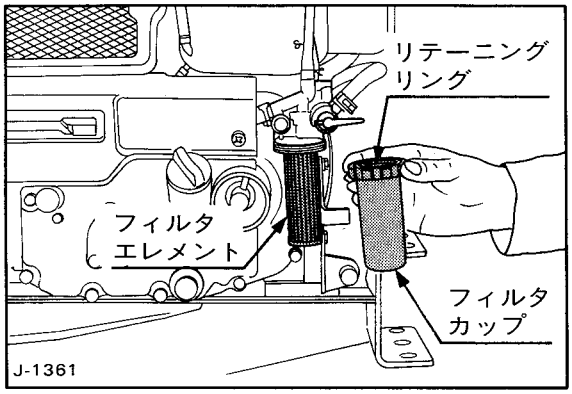
(2)カップの上のリテーニングリングを緩めて，カップを外し，カップの底にたまっているゴミや水を捨ててください。

(3)エレメントは，下方に静かに引張ると取外せます。新しい燃料の中で，すすぎ洗いしてください。

注意

(1)エレメントを乱暴に扱うと傷みますので，注意してください。

(2)エレメントに穴を開けたときは，新品と取換えてください。穴を開けたままでは，ゴミが入り，インジェクションパイプやノズルの寿命を短くします。



ラジエータについて

■冷却水の点検と給水

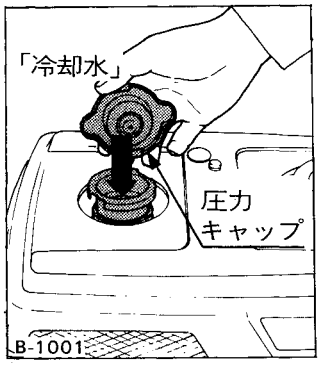
冷却水には，飲料水，又は清水を使用します。

点　検　方　法	容　量
ラジエータキャップを開けて，給油口いっぱいまであれば適量です。	0.9ℓ

注意

(1)泥水や塩水は絶対に入れないでください。

(2)冷却水には，必ず保浄剤No.11を入れてください。



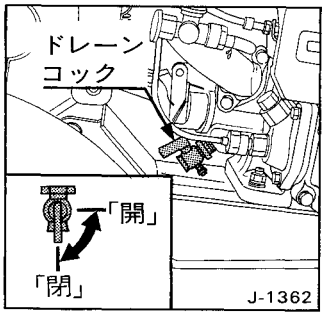
安全ポイント

(1)運転中，及び運転停止直後は，絶対にラジエータキャップを開けないこと。熱湯が噴出してヤケドをすることがあります。

(2)給水後，ラジエータキャップは確実に締めておいてください。

◆冷却水の排水

冷却水を抜くときは，ヘッドの下のドレーンコックを開けて，ラジエータキャップを開けますと，冷却水は排出されます。なおそのとき，エンジンを数回ゆり動かすと，いっそう完全に排出できます。

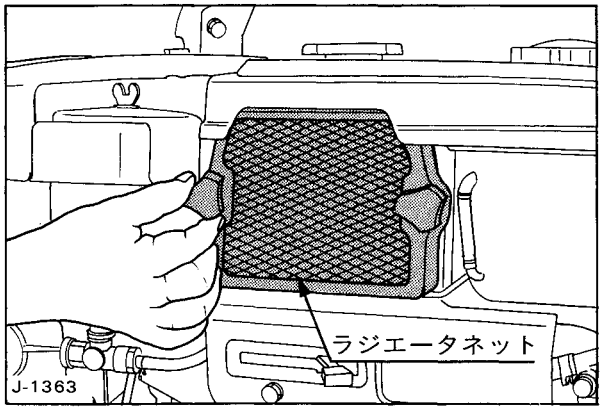


■ラジエータネット内部の清掃

ラジエータネットや内部にゴミやホコリがたまると，冷却効果が著しく低下します。

(1)定期的にラジエータネットを外し，中のゴミやホコリを取除いてください。

(2)ドライバやヘラを使うと，ラジエータを傷めますので，エアーで吹き飛ばすか圧力水を用いて流し去ってください。



■不凍液

氷がはるような寒い季節になると，ラジエータ内の冷却水も凍ることがあります。このようなときは，不凍液を冷却水に混入すると，凍結割れを防止できます。

Z-1006

(1)最低気温により，混合割合をメーカーの指示どおり決めてください。

(2)不凍液を使わない場合は，エンジン停止後，必ず冷却水を排出しておいてください。

■保浄剤・洗浄剤

◆保浄剤No.11

ラジエータ内にサビ・水アカが付くのを防止します。効果は3ヵ月間です。

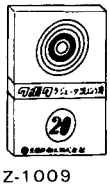
Z-1008

クボタ
ラジエータ
保浄剤No.11

（クボタラジエータ保浄剤No.11は工具袋に入っています。）

◆洗浄剤No.20

ラジエータ内を短時間で洗浄します。



Z-1009

クボタ
ラジエータ
洗浄剤No.20

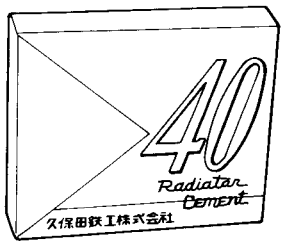
注意

(1)不凍液・保浄剤・洗浄剤の使用方法については，現品に記載してあります。

(2)不凍液は充分防錆効果がありますので，不凍液を入れた場合は，保浄剤を使う必要がありません。

■ラジエータセメント

ラジエータのはんだ付けが破れて，水もれしたときに御使用になれば，簡単に止まります。水もれが激しい場合は，購入店・農協に御相談ください。



Z-1010

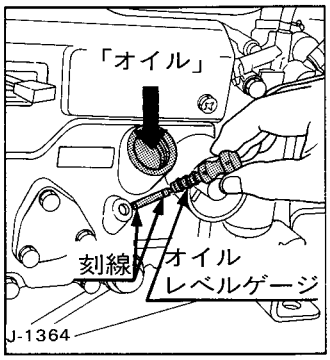
各部の給油・点検とオイル交換

■エンジンクランクケースオイル

◆給油のしかた

オイルの種類	点検方法	規定量
クボタ純オイル（ディーゼルエンジン用）D10W30	エンジンを水平状態にし，オイルレベルゲージ上の刻線まで。	0.9ℓ

クボタ純オイルの入手が困難な場合はCC級以上のディーゼルエンジン用オイルをお使いください。その際は，気温により，次のように使い分けます。

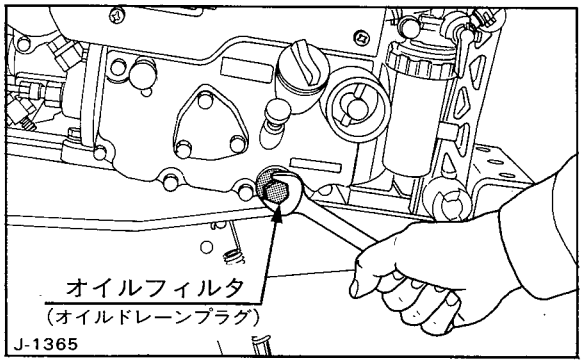


夏	20℃以上	SAE30
春・秋	5°～20℃	SAE20
冬	5℃以下	SAE10W，又は10W－30

◆オイル交換とオイルフィルタの洗浄

オイル交換と同時に，オイルフィルタの洗浄も行なってください。

❶オイルフィルタを外して，クランクケース内のオイルを全部排出します。



❷オイルフィルタとクランクケース内を軽油で洗浄します。

❸オイルフィルタを元の通りに取付け，新しいオイルを給油します。

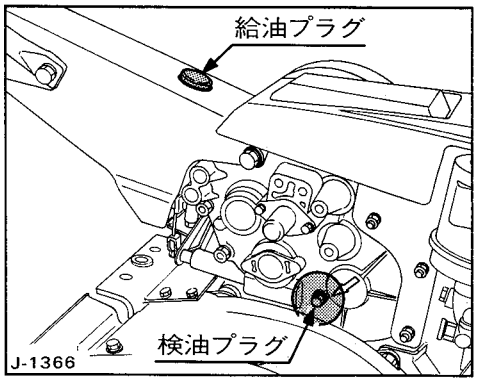
注意

●新しいオイルと交換する場合は，ケース内のゴミも同時に排出するようにします。
それには，運転使用直後，オイルが暖まって流動しやすい状態のうちに排出しましょう。
ゴミがオイルに混じった状態で排出できます。

■トランスミッションケースオイル

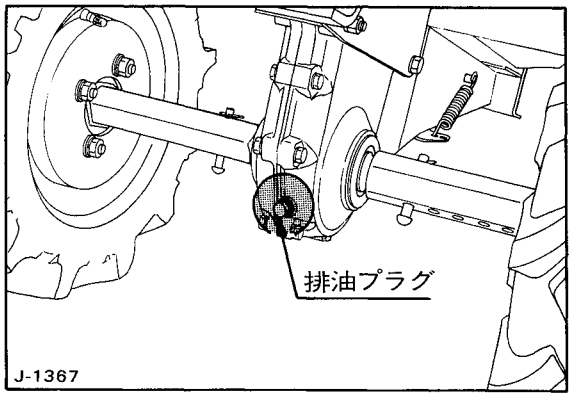
◆給油のしかた

オイルの種類	給油方法	規定量
クボタ純オイルM90又はM80B（ミッション用）	機体を水平にして，給油口より給油。検油プラグからオイルがあふれ出るまで入れる。	約3.1ℓ



◆排出方法

トランスミッションケース下部の排油プラグを抜いて排出してください。

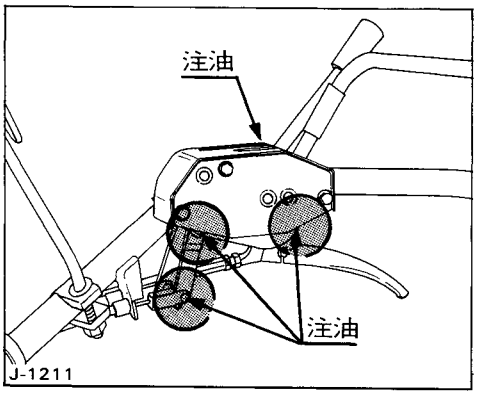


■各支点・ワイヤへの注油

オイルの種類	規定量
クボタ純オイルG30	適　量

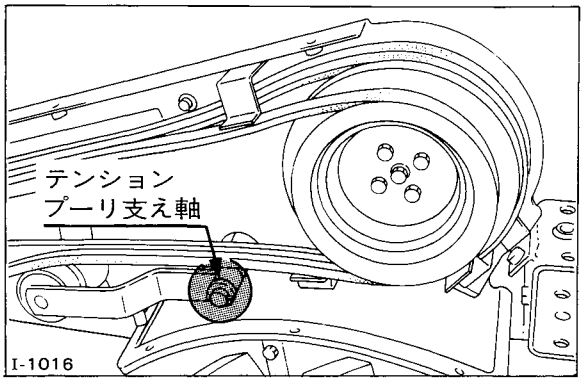
◆主クラッチレバー支点の注油

主クラッチレバーの作動を円滑にするため，主クラッチの作動軸に注油してください。



◆テンションプーリ支え軸の注油

テンションプーリの作動をよくし，主クラッチの「入」「切」を円滑に行なうため，テンションプーリ支え軸に注油してください。

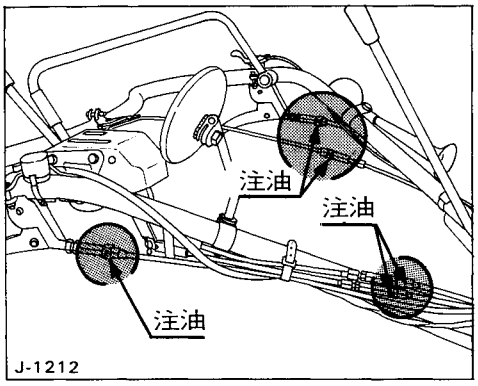


安全ポイント

(1)ベルトカバーを取外した場合は，必ず取付けてから作業をしてください。
(2)ベルトカバーを外したまま，エンジンを始動しないでください。

◆各種ワイヤの注油

操向クラッチワイヤ，主クラッチワイヤ，ブレーキワイヤなどには，調節金具の箇所に注油口がありますから，注油してください。



◆その他のしゅう動部

その他，接合部など各しゅう動部分にも，適量注油してください。

エアークリーナの清掃

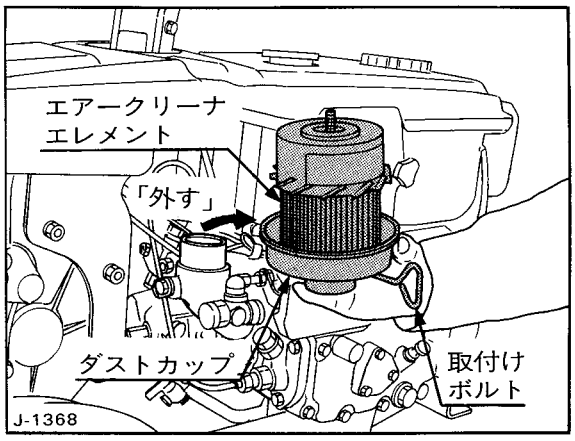
(1)ダストカップにたまったゴミを捨て，内部をきれいにふいてください。

(2)エアークリーナエレメントは，軽くたたきながらゴミを落とすか，又はエレメントを回しながら，圧縮空気を内側から吹付けてください。

カーボンや油分の多い場合は，中性洗剤に15分間浸してから，数回ザブ洗いを行ない，ザブ洗いのあと清水でよくすすいでから，風通しのよい場所で自然乾燥してください。乾燥のとき，圧縮空気や火気は使用しないでください。

(3)エレメントは，１年ごとか，又は６回清掃後，新品と交換してください。

(4)エレメントに穴を開けたときは，新品と取換えてください。穴を開けたままで使用すると，エンジンの寿命を短かくします。



使用後の清掃

(1)使用後は，必ずその日のうちに機体の清掃を行ない，各部についている泥を洗い落とします。

(2)水洗後は，必ず水をふき取り，摩擦しゅう動部がさびないように油脂を塗布してください。

長期格納時の手入れ

使用後の清掃と同じく，各部に付着している泥やゴミを水で洗い落とし，各部の水分を乾いた布なでど充分にぬぐい取り，摩擦しゅう動部，及び塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。

その他，次の事項について手入れしてください。

(1)主クラッチレバーは「切」の位置にして，保管してください。

(2)フューエルコックレバーを「C」にして燃料を止めておいてください。

(3)冷却水を完全に抜き取ってください。

(4)エンジンオイルを交換し，各部をきれいに清掃します。

(5)エアークリーナエレメントは，きれいに清掃してください。ゴミがこびりついて次回の使用の際，清掃が困難になります。

(6)エンジンのシリンダ内に湿気が入ると，来期の始動が困難になるので，スタートハンドルを回し，圧縮位置にしておいてください。

(7)カバーをかけ，湿気やホコリのない場所に置いてください。カバーはエンジンが冷えていることを確認した上で，かけてください。

安全ポイント

- 小部屋に格納しようとするときは火災の危険があるため，エンジンが冷えてからにしてください。

注意

- 凍結割れの心配がない場合は，冷却水を抜く必要はありません。不凍液が入っている場合もそのままで結構です。

保守と調節

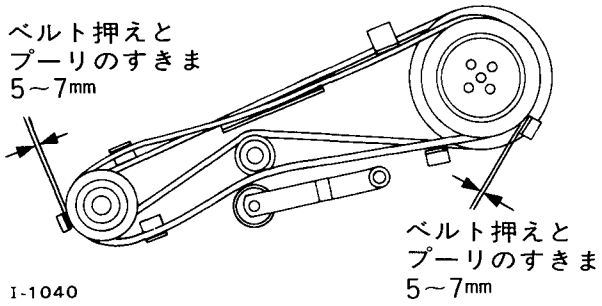
主クラッチの調節

主クラッチレバーは，運転操作の源となる重要なレバーです。

運転の場合にエンジンの動力を充分に伝達し，又停止の場合は，確実に停止するように次の事がらについて調整してください。

■ベルト押えの調節

主クラッチを入れた状態で，ベルトと上下ベルト押えの間隔を，下図のように調節してください。

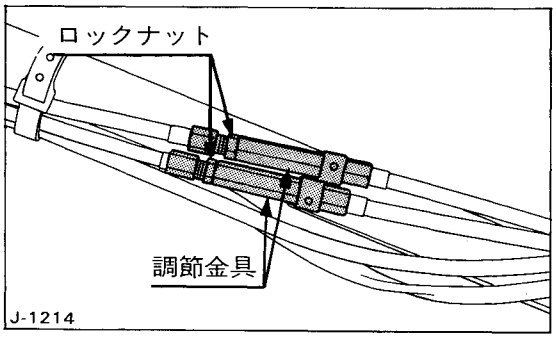


I-1040

■主クラッチワイヤ

主クラッチレバーを入れてもベルトがスリップする場合，又主クラッチレバーが重すぎる場合などには，主クラッチワイヤの調節金具でベルトの張り具合を調節してください。

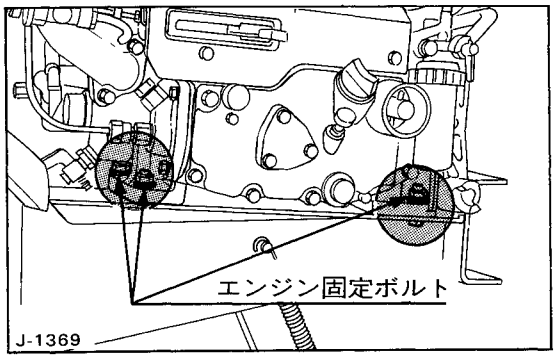
ベルトがスリップする場合	調節金具を長くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具を短くする。
ベルトの張り強さ	主クラッチを入れた状態で，ベルト中央部を指で押えて約１cmたわむ程度。



J-1214

■エンジン前後によるベルトの調節

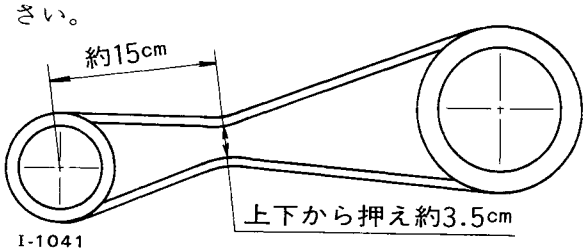
ベルトが伸びたり，又は新しいベルトに取換えた場合などにおいて，主クラッチワイヤやベルト押え金具で主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動調節できますので，エンジン固定ボルト４本を緩めて調節してください。調節後は確実にボルトを締付けてください。



J-1369

■新しいベルトに交換する場合

新しいベルトに交換する場合は，高低２本のベルトを同時に交換し，ベルトのたわみ代は，エンジンプーリ側から約15cmの位置で，約3.5cmになるよう，エンジンを移動させて調節してください。



I-1041

安全ポイント

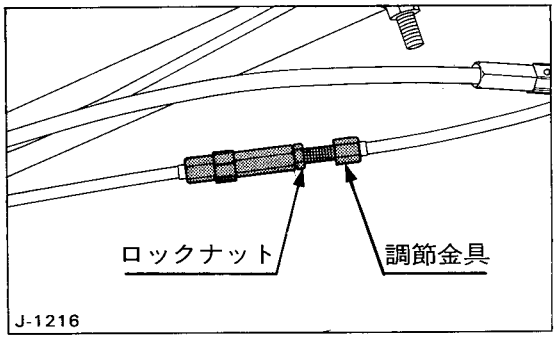
(1)ベルト調節，ベルト掛換えを行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。

(2)調整と各部の締付けが終ってからの確認は，主クラッチを切り，エンジンを始動して，主クラッチ「入」のときベルトが作動し，「切」のときに停止するか確認してください。

(3)調整，掛換えが終ったら，必ずベルトカバーを取付けてください。

駐車ブレーキの調節

ブレーキレバーを握り，ロック金具を作用させると駐車ブレーキになりますが，ブレーキがききにくい場合は，次の要領で調節してください。調節金具のロックナットをゆるめ，左に回して長く引き出し，確実にきくことを確認します。調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

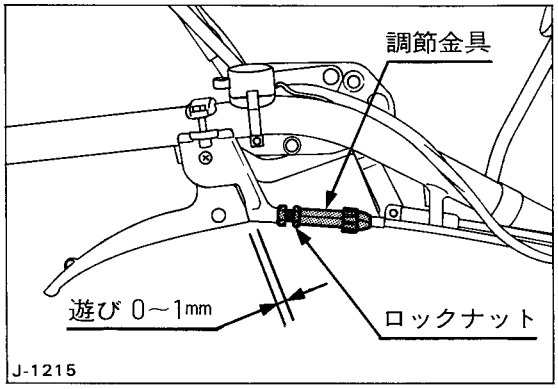


操向クラッチの調節

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，又操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合は，調節金具のロックナットを緩めて調節します。

操向クラッチ	調　節　金　具
切れにくい場合	長くする。
入りにくい場合	短くする。
適正な調節	操向クラッチが完全に入っていることを確認して，レバーの遊びが０～１mm程度になる。

調節後は調節金具のロックナットを確実に締付けてください。



ファンベルトの張り調節

ベルトが緩んだまま運転しますと，ベルトがスリップし，エンジンの冷却能力が低下するばかりか，寿命を短くしますので，常に点検調節してください。

適正張り強さ	プーリとプーリの間を指で押さえて，５～10mmたわむ程度。

◆調節方法

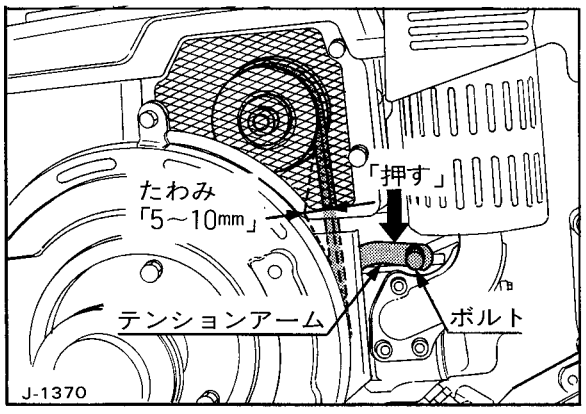
❶ボルトを緩める。
❷テンションアームを押して，ベルトを張ります。
❸ボルトを固く締付けます。

注意

- ファンベルトが切れた場合，切れてからしばらくすると，ラジエータ内の蒸気が噴出し続けますので，すみやかにエンジンを停止してください。

安全ポイント

- 必ずエンジンを停止して行なってください。



タイヤの空気圧の調節

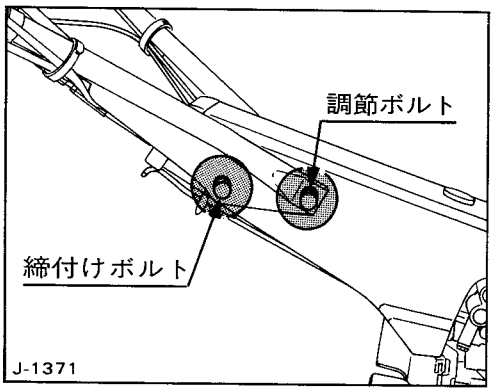
空気圧が高すぎても低すぎても，タイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べ，適正になるように調節してください。

適正空気圧	1.2kg／cm²

空気を入れるには，エアーコンプレッサ，又は自動車などのタイヤに空気を入れる高圧手押しポンプを用いてください。

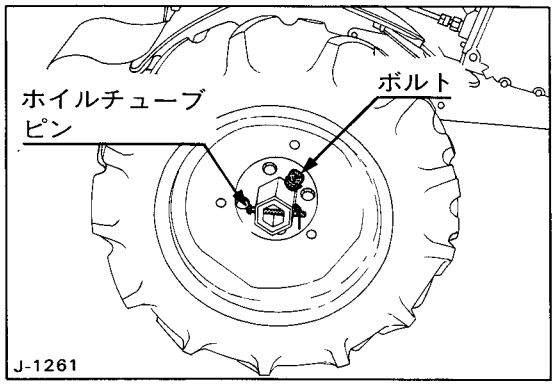
手元ハンドルの上下調節

手元ハンドルの高さは，３段に調節できます。締付けボルトを緩め，調節ボルトを抜き，使いやすい位置に調節します。
調節後は，調節ボルトと締付けボルトを確実に締付けてください。



車輪間隔調節と車輪交換

作業条件に応じて，車輪間隔調節と車輪交換は次のとおり行ないます。
車輪ハブと六角ホイールチューブは，ピン１本とボルトで取付けてありますので，ボルトを緩めホイールチューブピンを抜いて，車輪間隔の調節や交換を行なってください。



安全ポイント

(1)必ずエンジンを停止して行なってください。
(2)車輪交換は平たんな場所で行なってください。

付表

アタッチメント一覧表

■パイプ車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
55パイプ車輪完備	920555－031－0	外径55cm	T70 T50 (Z)T5 (Z)T7
60パイプ車輪完備	920560－031－0	外径60cm	
65パイプ車輪完備	920565－031－0	外径65cm	
55パイプ車輪2形完備	920555－041－0	外径55cm　上記パイプ車輪よりもけん引力が大きい	
60パイプ車輪2形完備	920560－041－0	外径60cm	
65パイプ車輪2形完備	920565－041－0	外径65cm	

■三角フロート車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
60三角フロート車輪完備	920860－014－0	外径60cmストレート形	T70
65三角フロート車輪完備	920865－014－0	外径65cmストレート形	T50
70三角フロート車輪完備	920870－018－0	外径70cmアサガオ形	(Z)T5
75三角フロート車輪完備	920875－018－0	75cmアサガオ形	(Z)T7

■水田車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
65水田車輪角ハブ完備	920665－014－0	外径65cmアサガオ形テーパハブ	T70
70水田車輪角ハブ完備	920670－012－0	外径70cmアサガオ形テーパハブ	T50
501水田車輪角ハブ完備	920660－011－0	外径60cmテーパ形平行ハブ	(Z)T5
502水田車輪角ハブ完備	920665－015－0	外径65cmテーパ形平行ハブ	(Z)T7

■湿田車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
70湿田車輪角ハブ完備	930670－018－0	外径70cmアサガオ形	T70
75湿田車輪角ハブ完備	930675－014－0	外径75cmアサガオ形	T50
70袋湿田車輪角ハブ完備	930870－013－0	外径70cmアサガオ形	(Z)T5
75袋湿田車輪角ハブ完備	930875－014－0	外径75cmアサガオ形	(Z)T7

■代かきカゴ車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
211代かきロータ完備	921600－031－0	外径45cm 取付け幅93.6cm	T70 T50 (Z)T5 (Z)T7
212代かきロータ完備	921600－032－0	外径45cm 取付け幅103.6cm	
214カゴ車輪完備	920442－011－0	外径42cm 取付け幅92.5cm	
215代かきロータ完備	921600－035－0	外径45cm 取付け幅127.2cm	
216双子ロータ完備	921600－039－0	外径45cm 取付け幅118.2cm	

■湿田，田打ちロータ類

品名	品番	仕様	兼用機種
255湿田ロータ完備	921610－032－0	外径45cm 取付け幅130.5cm	T70 T50 (Z)T5 (Z)T7
254湿田ロータ完備	921610－031－0	外径45cm 取付け幅130.5cm	
253田打ちロータ完備	921610－021－0	外径45cm 取付け幅151.8cm	
251田打ちロータ完備	921610－035－0	外径50cm 取付け幅111cm	
252田打ち車輪完備	921610－036－0	外径50cm 取付け幅125cm	

■レーキ，ハロー類

品名	品番	仕様	兼用機種
スプリングレーキ完備	922701－019－0	全幅120cm	テーラー 全般
延長スプリングレーキ完備	922701－021－0	全幅120cm(延長分のみ)	
整地板付スパイクハローC	922701－011－0	全幅100cm	
スパイクハローC	922701－101－0	全幅100cm	

■サポート，ヒッチ類

品名	品番	仕様	兼用機種
調節式サポートB	923160－011－0		テーラー 全般
サポート	923160－012－0		
延長ヒッチ	923160－013－0		
ユニバーサルヒッチ完備	62182－5260－0		(Z)T5
湿田抵抗棒	91316－1011－0		
汎用抵抗棒	92316－1041－0		
角ロータ抵抗棒	92316－1042－0		
標準抵抗棒	92316－1101－0		

■耕起ロータ類

品名	品番	仕様	兼用機種
ニュー10連ワンダーロータ完備	921520－052－0	外径46cm 取付け幅117.2cm	T50 (Z)T5
ニューワンダー湿田完備	921520－054－0	外径46cm 取付け幅117.2cm	
角ロータ	921560－018－0	外径46cm 取付け幅109.4cm	
延長角ロータ	921560－019－0	外径46cm 取付け幅146.4cm	

■すき類

品名	品番	耕うん幅	耕深	兼用機種
松山双用1段すき	922411－001－0	20cm	18cm	T50 T70 (Z)T5 (Z)T7
松山湿田双用1段すき	922411－014－0	18～24cm	10～18cm	
松山田畑双用2段すき	922421－001－0	18cm	18cm	
松山双用2段すき	922421－004－0	20～25cm	15～20cm	
高北乾湿田兼用すき	922412－010－0	22～24cm	15cm	
高北田畑兼用すき	922412－019－0	24cm	15cm	
高北ボルカニックスすき	922412－021－0	24cm	15cm	
高北双用2段すき	922422－001－0	18～24cm	14～20cm	

■作溝器，培土器類

品　　名	品　　番	みぞ底幅	うね高さ	兼用機種
小川３号作溝器	922217－021－0	9 cm	30cm	T30 T40 T50 T70
小川４号作溝器	922217－022－0	12cm	30cm	
小川５号作溝器	922217－023－0	15cm	35cm	

品　　名	品　　番	みぞ底幅		兼用機種
畝立器３Ｂ－303	92220－1015－0	12.5cm		T50，T70 (Z)T5,(Z)T7

■ラセンスキ類

品　　名	品　　番	仕　　様	兼用機種
ラセンスキ１形	931910－107－0	取付け幅65cm，最大耕深18cm	T40 T50 T70 (Z)T5 (Z)T7 K550 K700
親子ラセンスキ２形	931910－108－0	取付け幅40・85cm，最大耕深18cm	
延長ラセン	931910－109－0	取付け幅26cm	
爪ラセン	921701－016－0	ラセンスキ幅＋19cm	
残幹処理刀	921910－106－0		
ラセンスキ用作溝器	922215－013－0	溝幅22cm	T50，T65 (Z)T5,(Z)T7 K550,K700

■ロータリプラウ

品　　名	品　　番	仕　　様	兼用機種
４枚固定ロータリプラウ	931920－101－0	取付け幅83cm，最大耕深18cm	T40 T50 T70 (Z)T5 (Z)T7 K550 K700
３枚固定ロータリプラウ	921920－101－0	取付け幅62cm，最大耕深18cm	
ブラケットつき４枚ロータリプラウ	921920－029－0	取付け幅83cm，最大耕深18cm	
ブラケットつき３枚ロータリプラウ	921920－031－0	取付け幅62cm，最大耕深18cm	
跳出版付き補助プラウ	921920－019－0		
補助プラウ	921920－018－0	左右各１枚	
跳出版	921920－021－0	左右各３枚，羽根に取付ける。	
ロータリプラウ作溝器１号	922213－011－0	溝幅27cm	
ロータリプラウ作溝器２号	922213－012－0	溝幅23cm	
ロータリプラウ作溝器３号	922213－013－0	溝幅13.5cm	
ロータリプラウ用作溝器(2号)	932213－014－0		
スキガラ式高うね作溝器	932213－012－0	溝幅26.8cm	
ロータリチューブ	921920－301－0		Ｔ５畑用ロータリ2形用

■その他

品　　名	品　　番	仕　　様	兼用機種
Ｔ５畑用ロータリ２形	922021－036－0	耕幅42～60cm	(Z)T5

オプション部品

品　　名	品　　番	仕　　様	兼用機種
丸ホイールチューブ700	62281－8331－0		(Z)T5 (Z)T7
丸スリーブ	62081－8332－0		(Z)T5 (Z)T7
車軸スリーブ	62081－8333－0		(Z)T5 (Z)T7
六角ホイールチューブ165	62081－8334－0	取付け幅46.8cm	(Z)T5 (Z)T7
ホイールウエイト完備	923122－012－0	4.00－10タイヤ用 20kg	(Z)T5 (Z)T7
プーリボス完備	62231－8140－0		T70 (Z)T5,(Z)T7
バランスウエイト16完備	62281－8310－0	8 kgウエイト＋ボルト	
バランスウエイト21完備	62281－8320－0	13kgウエイト＋ボルト	

仕様

名称		(Z)TD402
エンジン	名称	クボタE40－T
	形式	横形水冷4サイクルディーゼル
	シリンダ数	1
	行程容積	212cc
	定格出力／回転速度	3.5馬力／2600回転毎分
	最大出力／回転速度	4馬力／2600回転毎分
	冷却方式	加圧ラジエータ式(自然対流)
	燃焼室形式	TVCS方式(3噴流渦流室式)
	使用燃料	クボタディーゼル重油又はディーゼル軽油
	使用オイル	クボタ純オイルD10W－30(ディーゼルエンジン用)又はCC級以上
	潤滑方式	トロコイドポンプによる強制潤滑
	冷却水容量	0.9ℓ
	フューエルタンク容量	3ℓ
	オイル容量	0.9ℓ
	回転方向	駆動軸側から見て左回転
	始動方法	2.9倍増速ハンドル式
機体の大きさ	全長	187cm
	全幅	73cm
	全高	111cm
重量		140kg
主クラッチ		ベルトダブルテンション式
変速段数		前進6段，後進2段
操向クラッチ		爪クラッチ
標準タイヤ		400－10
動力取出し軸回転速度		低：844回転／分　　高：1465回転／分

■速度表

エンジン回転速度2600回転/分

変速		車軸回転速度	速度		主な作業
前進	※ 1速	10.6回転/分	15.3m/分	0.9km/時	ロータリ耕うん
	2速	18.4回転/分	26.6m/分	1.6km/時	
	※ 3速	36.7回転/分	53.3m/分	3.2km/時	すき耕・ロータ耕
	4速	63.8回転/分	92.5m/分	5.6km/時	すき耕・ロータ耕
	※ 5速	88.9回転/分	129 m/分	7.7km/時	ロータ耕・代かき
	6速	154.3回転/分	223.9m/分	13.4km/時	トレーラ運搬(最高速度14.2km/時)
後進	※ R1速	11.1回転/分	16.1m/分	1.0km/時	移動
	R2速	19.3回転/分	28 m/分	1.7km/時	トレーラ運搬

注 (1)前進6速・後進R2速はトレーラ作業時のみ使用してください。

(2)※印は副変速「低速」です。

オイルは クボタ純オイルをお使いください。

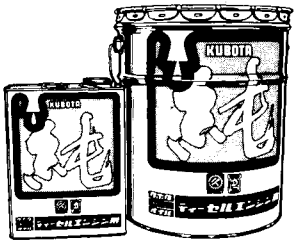
オイルは，テーラーの開発研究から生まれたクボタ純オイルを，必ずお使いください。
市販のオイルを御使用になりますと，あなたの大切なテーラーの寿命を縮めることがあります。

■エンジンには‥‥

クボタ純オイル

ディーゼルエンジン用

D10W30



4ℓ　20ℓ

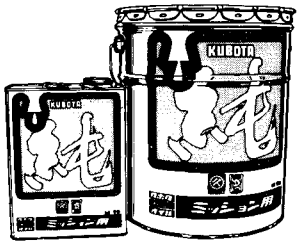
Z-1002

■テーラー本体には‥‥

クボタ純オイル

ミッション用

M90又はM80B

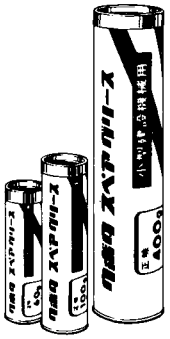


4ℓ　20ℓ

Z-1004

■グリースアップには…

クボタスペアグリース



60　100　400

Z-1005

お買い求めは，クボタ特約店・農協又は丸善石油，大協石油，日本石油，共同石油のスタンドに御用命ください。

純正部品を使いましょう

農業機械の補修には，
安心して御使用いただける純正部品を，お買い求めください。
市販類似品を御使いになりますと，
機械の不調や，あなたの大切な機械の寿命を短かくする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは，
あなたの機械に一番よくマッチするように研究され，
厳重な検査を受けてから出荷されますので，安心して使っていただけます。
市販類似品を御使いになりますと，
作業能率の低下やあなたの機械の寿命を短かくする原因になります。

(Z)TD402
M．△．2－2．6．AK

久保田鉄工株式会社

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556－91	電（06） 648－2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目３番２号	〒103	電（03） 279－2111
北海道支店	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44（札幌富士ビル）	〒060	電（011）231－8271
東北支店	仙台市本町２丁目15番11号	〒980	電（0222）25－8151
名古屋支店	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号（大東海ビル）	〒450	電（052）563－1511
九州支店	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号（住友生命博多ビル）	〒812	電（092）451－1121
サービスステーション	名取・名取市田高字原182番地の１	〒981－12	電（02238）４－5151
	秋田・秋田市寺内字大小路207番54	〒011	電（0188）45－1601
	水戸・水戸市千波町1954－１	〒310	電（0292）41－3141
	浦和・浦和市大字西堀字桜田1228番地	〒336	電（0488）62－1121
	新潟・新潟市上所島字上所上１番	〒950	電（0252）85－1261
	名古屋・愛知県一宮市観音町１番地の１	〒491	電（0586）24－5111
	金沢・松任市下柏野町956－１	〒924	電（0762）75－1121
	岡山・岡山市宍甘275番地	〒703	電（0862）79－4511
	米子・米子市米原569番地	〒683	電（0859）33－5011
	福岡・福岡市東区大字下和白字蒲地開	〒811－02	電（092）606－3161
	熊本・熊本県下益城郡富合町大字廻江846番地の１	〒861－41	電（0963）57－6181
	高松・高松市藤塚町１丁目11番23号	〒760	電（0878）31－8171
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電（0722）41－1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22の２	〒321	電（0286）61－1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300－22	電（029752） 5111
枚方機械製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電（0720）40－1121
堺部品センター	堺市神南辺町２丁76－２	〒590	電（0722）29－5501
宇都宮部品センター	栃木県河内郡河内町白沢1819－１	〒329－11	電（02867）３－1521
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町字大曲186－37	〒061－12	電（01137）６－2335
筑波部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300－22	電（029752） 5111
枚方部品センター	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電（0720）40－1121

クボタトラクターコーポレーション（アメリカ・カリフォルニア州）・カナダクボタトラクター販売（株）（オンタリオ州）・ブラジル久保田鉄工（有）（サンパウロ市）・ヨーロッパクボタトラクター販売（株）（フランス・アルジャントゥイユ市）・イランクボタ（株）（ガズビン市）・インドネシアクボタ（株）（スマラン市）・マレーシアクボタ農業機械（株）（セランゴール州）・タイクボタトラクター販売（株）（バンコック市）・クボタマルスチール農業機械（株）（フィリピン・マニラ市）・新台湾農業機械（株）（高雄市）

久保田鉄工

品番 62381－6311－2